

みんなでトイレプラン作成チャレンジ

2022年8月29日

パビリオン内のトイレについて、『誰もが使いやすい、ミライのトイレ』をめざし、「トイレの既存概念を変える、チャレンジングで心に響くトイレ」「みんなが自然に使える、壁・境界やバリアのないトイレ」「人の気持ちに寄り添った案内と設備を備えたストレスフリーのトイレ」というコンセプトのもと、UD推進チーム(仮称)のメンバーが3班に分かれて、トイレプランの作成にチャレンジしました。



写真①:ワークショップ

車いす使用者、視覚障がい者、聴覚障がい者のほか、知的障がい者や精神障がい者、発達障がい者などの見えにくい障がいがある方、LGBTQや異性介護を必要とする方など、UD推進チーム(仮称)のメンバーが、これまでの経験や日頃感じていることなどを意見交換しながら、各班でトイレのプラン案を作成しました。



写真②:“福笑い”

各班でのトイレのプラン案の検討にあたっては、手話通訳者にも入っていただいたほか、厚みのあるボードを使った“福笑い”のような模型を準備し、聴覚障がい者や視覚障がい者、細かい作業が苦手な方も一緒に、プラン案の作成にチャレンジしました。



写真③:トイレプランの作成チャレンジ中



写真④：プラン案の発表

最後に、各班から、それぞれのプラン案の特徴をはじめ、議論の中で浮かび上がった課題などを発表してもらいました。

LGBTQ や異性介護を必要とする方にも使いやすいようにオールジェンダートイレとする案や、手洗いやおむつ替えベッドなどのキッズ関係設備のみを男女共用とする案など、各班から、チャレンジングなプランが提案されました。